

## 第7次エネルギー基本計画(案) ご提案いただいた意見の反映について

2025 年 1 月 10 日～16 日の期間で募集しました政府案への意見（パブリック・コメント）について、多くのご意見を頂戴しました。ご協力いただきました企業様におかれましては、短い期間でご対応いただき、誠に感謝申し上げます。ご意見の反映につきましては、委員長と協議をした上でとりまとめ、締切の 1/26 までに国に提出いたしました。

頂戴したご意見は極力反映をするよう努めましたが、全ての意見を反映できかねている点につきましてあらかじめお詫び申し上げます。反映方針につきましては下表をご参照いただきますようよろしくお願い申し上げます。また、この度は反映方針の発信が提出事後となりましたこと、重ねてお詫び申し上げます。

ご意見（記載 No は事前にご確認いただいた資料 No に合わせています）	反映状況（国に提出した意見書の No に合わせています）
<p>【前文】 2パラ目最初に以下の文を追加してはいかがか。 「こうした中、特に、わが国は、他国に隣接しない島国かつ自国資源エネルギーの乏しい国家という特殊性から、エネルギー政策においては、国産・純国産電源の重視とエネルギー源の分散化・多様化が、極めて重要な課題と言える。そして、」</p>	<p>【前文】 拝承しました。挿入箇所は前後の文脈を鑑み、3パラ目とさせていただき、エネルギーの分散化・多様化の記載については後の文脈と重複することから割愛させていただきます。</p>
<p>【前文】 2パラ目「わが国は強い決意のもと、」の後に以下の文を追加してはいかがか。 「経済発展とのバランスはとりつつも、」</p>	<p>【前文】 拝承しました。前後の文脈を鑑み、「経済成長」という言葉を追記いたします。</p>
<p>【前文】 Low Carbon Fuel を合成メタン・合成燃料に修正をお願いしたい。</p>	<p>【前文】 拝承しました。</p>
<p>【パブコメ No. -】（新規）設備更新への投資促進 【概要】脱炭素に向けた設備更新への投資を促進するために、補助金、金融、税制等を組み合わせた総合的な施策を検討すべき《P. 20 15 行目》 【意見】設備更新のための投資が高額であることに加え、昨今の建設物価上昇により、投資判断がますます困難になってきている。また支援制度内容の課題もあり、例えば、省エネ改修は居ながら工事となることが多く長期に亘るが、補助金の対象期間</p>	<p>【パブコメ No. 1】 拝承しました。新たに追加いたします。</p>

<p>はそれに満たないなどがあげられる。ポリュームゾーンである既存施設における設備更新への投資を促進するために、補助金・助成金、金融支援、税制を組み合わせた使い勝手の良い総合的な施策を検討すべき。</p>	
<p>【パブコメ No. 1】 意見の最後に以下の文を追加してはいかがか。 「尤も、kW の明記がエネルギー政策の柔軟性を損なわない様、比率の補助的役割であることを明確にすべき。」</p>	<p>【パブコメ No. -】（記載抹消） ご指摘いただいたとおり、「kW」を表記することにより、複数シナリオで電源構成を検討されている中で、エネルギー政策の柔軟性が損なわれる可能性があります。従いまして「kW」表記に関する意見については抹消させていただきます。</p>
<p>【パブコメ No. 1】 設備投資の予見性確保 【概要】 電源構成を比率で表すことが一般的となっているが、設備投資の予見性からは kW で記載すべきすることも必要《P. 25 8 行目》 【意見】 本計画案（別紙 2040 年度におけるエネルギー需給の見通し（関連資料））では、前回計画と比較して総需要の想定が上振れしている。このため、前回と同様の電源構成比率だとしても絶対量が大きくなり、そのための設備の増設が必要となる。設備投資の予見性の観点からは、電源比率に加え「kW」も併記し、目標を明確にすべき。電源比率ではなく「kW」での記載とし、電源比率は参考数値とすべき。</p>	<p>【パブコメ No. -】（記載抹消） ご指摘の意見を踏まえて今回は本記載を抹消する方向にて対応させていただきます。ご意見ありがとうございました。</p>
<p>【パブコメ No. 2】 「空き家問題」に関する内容追加をご提案させていただきます。ただし、財産権や地方自治体との確認が必要と考えます。⇒空き家を有効活用 ①空き家の屋根に PV を設置し、地域の公共施設へ電力供給 ②空き家の劣化が顕著であり、構造的に困難であれば、行政代執行により解体し、更地にしたうえで PV 設置 など</p>	<p>【パブコメ No. 2】 空き家への PV 設置は、既存住宅の対応と合わせて検討すべき内容とさせていただきます、既存住宅への創エネ・省エネの促進として新規項目（No2）を設けることにご了承願います。また、行政代執行による空き家の解体については、まだ法整備など課題が多いことから、今回の記載は見送り、今後の検討材料とさせていただきます。</p>

<p>【パブコメ No. -】（新規）</p> <p>エネルギー施設構築にかかわる企業はいずれも人手不足の状況であり、どの事業にリソースを投資すべきかが重要な課題となっている。一方、エネルギー施設構築には、計画から完成まで長期間にわたるため、取り組みはしたものの最終的に事業採算が成り立たないリスクが伴う。企業が積極的に取り組むためには、リソースを先行投資しやすくするインセンティブ、もしくは物価上昇を含めた事業採算不成立リスクに対するセーフティネットが必要。また、エネルギー安全保障の観点から施設構築を早期・確実に進めるためには、先行する一定量に関しては、関連技術・人材リソースを有する企業に官主導で推進させることが必要。</p>	<p>【パブコメ No. 3】</p> <p>拝承しました。新たに追加いたします。なお、関連技術・人材リソースを有する企業に官主導で推進する記載につきましては、経済団体として特定の企業を斡旋するように受け止められる可能性があることから、記載できかねることご了承願います。</p>
<p>【パブコメ No. -】（新規）</p> <p>原子力発電所建設への計画から運転開始迄迄のマイルストーンの提示</p> <p>脱炭素エネルギー源として原子力発電が今後重要な役割を果たして行く事が見込まれる。現行の全発電量に占める 8.5%の比率を 2040 年に 2 割程度まで引き上げるには、既存原子力発電所の再稼働に加え、新規建設が必須と思われる。国民のコンセンサスの取得や安全性の担保、財源確保も含め、計画から運転開始迄長期間を要する事を考慮すると、早い段階で原子力発電所再稼働・新設のマイルストーンが提示されるべきではないでしょうか？</p>	<p>【パブコメ No. 5】</p> <p>拝承しました。新たに追加いたします。</p>
<p>【パブコメ No. -】（新規）</p> <p>原子力の最大活用は現実的な選択であり、明記されたこと自体は歓迎する。</p> <p>一方、2040 年、2050 年に向けて設備を着実に整備するため、また、3 年ごとのエネルギー基本計画の見直しにおいて原子力最大活用の方針が停滞、後退することのないよう、具体的な目標や工程、マイルストーンを提示願いたい。</p>	<p>【パブコメ No. 5】</p> <p>拝承しました。新たに追加いたします。</p>
<p>【パブコメ No. 4】</p> <p>下線の追記を提案したい。</p> <p>「現在の広域系統長期方針（広域連系系統のマスタープラン）は、第 6 次エネルギー基本計画を前提としているが、データセンターや半導体工場の大規模需要の立地や、資材費高騰、さらにはエリア間の市場分断の発生増加など、前提条件が大きく変動している。このような状況変化を踏まえ、<u>国民負担抑制の観点からも、費用便益評</u></p>	<p>【パブコメ No. 6】</p> <p>拝承しました。なお、エリア間の市場分断の要素は、今後の蓄電池の導入や大規模需要を再エネ適地へ誘導することで必ずしも増加するとは限らないことから、「市場分断の発生状況」という表現とさせていただきます。</p>

<p>価（B/C）をしっかりと行い、マスタープランに反映すべき。」</p>	
<p>【パブコメ No. 5】 意見の「また、こうした検討を」の前に以下の文を追加してはいかがか。 「この際、電力需要が増加する局面においては自由化が新規電源投資の障壁となることを十分考慮に入れ、必要となる脱炭素電源やトランジション電源（含む LNG 火力）の投資回収予見性が確保される制度に改定していく必要がある。」</p>	<p>【パブコメ No. -】（記載抹消） ご意見いただいた電源への投資回収予見性を高める制度として脱炭素電源オークションが開始されております。今後、制度の在り方について都度検証が行われますので、その際の参考にさせていただきます。なお、電力システムの合理化の意見については、具体性に乏しい内容であったことから抹消いたしました。</p>
<p>【パブコメ No. 5】 下線の追記を提案したい。 データセンターや半導体工場の新設・増設などの局所的かつ大幅な電力需要増加に対しては、分散型電源を活用した供給システムなどにより、電源と送配電も含めた電力システム全体の合理化を図っていくことが必要。また、こうした検討を、スピード感をもって効率的に進めていくためには、<u>一般送配電事業者の中立性・公平性の確保を前提にしつつ、各地域で発電・送配電だけでなく、自治体や金融機関も一体的に対応できる環境整備に向けて支援すべき</u></p>	<p>【パブコメ No. -】（記載抹消） 改めて内容を精査した結果、既に p24③事業環境整備・市場環境整備に公平性の確保、金融との連携について記載があったことから、本意見は抹消させていただきます。なお、電力システム改革については、パブコメ NO. 11 に記載しました。ご意見ありがとうございました。</p>
<p>【パブコメ No. 7】 以下の文を提案したい。 低炭素水素等のサプライチェーン構築のための公共インフラの在り方検討 【概要】低炭素水素等のサプライチェーン構築には配送インフラを公共財と捉えた新たな政策制度の検討とセカンドチェーン以降のさらなる資金面での支援を検討すべき 《P. 48 36 行目》 【意見】化石原燃料との価格差に着目した支援を 3 兆円規模行うこととしているが、需要地が港湾近傍から離れている場合、個々の需要地までの配送コストが高く、この配送インフラを『公共財』として捉えた産業横断可能なインフラ整備の新たな施策制</p>	<p>【パブコメ No. 8】 拝承しました。内陸部だけでなくその他の需要家への支援についても配慮して、内陸部を含めた個々の需要家という表現に修正いたします。またファーストムーバーへの支援が足りていない中、セカンドムーバー以降の支援についても言及することは難しいことから、今回は記載を見送らせていただきますが、今後その他の政策提言において国に要望をしていきます。</p>

<p>度が必要。例として中部圏では自動車産業を始めとした低炭素水素等の需要地が内陸部にあり小規模需要家が点在している状況であるが、全体の低炭素水素需要は臨海部の発電等、大規模需要並みのポテンシャルがある。しかしながらその需要地までの配送コストは個々の需要量に対し割高となり、環境価値を考慮しても需要家が利用可能なコストとはならず、現実的には利用できない。臨海部の発電、石油化学、製鉄等の大規模需要家以外にも自動車を代表とする裾野産業等、産業横断的に低炭素水素を利用できるインフラを、臨海部～内陸部スルーでスピードを持って実現するため、行政がリードして『公共財』の在り方に関する新たな政策制度検討とセカンドムーバー以降への資金面での支援を合わせて取り組んでいくべきではないか。</p>	
<p>【パブコメ No. 7】 以下の修正を提案したい。 &lt;修正前&gt; …。ゆえに、低炭素水素等の受入拠点から内陸部への需要地までのサプライチェーンを構築し、利活用を促すためのさらなる資金面での支援強化、また、セカンドムーバー以降への支援について記載すべき。 &lt;修正案&gt; …。ゆえに、<u>低炭素水素等のサプライチェーンを構築に係る資金面での支援強化に向けて、低炭素水素等の技術進展状況や導入コストの見通しも踏まえつつ、セカンドムーバー以降への支援の在り方を検討すべき。</u></p>	<p>【パブコメ No. 8】 拝承しました。追記いたします。</p>
<p>【パブコメ No. 7】 水素の受入拠点・製造拠点から個々の需要地までのサプライチェーン構築も重要であり、それは内陸部以外でも同様かと存じます。(例えば、拠点から各需要地・工場内での水素専用パイプライン敷設など) 従いまして、「<u>受入拠点・製造拠点から内陸部含めた個々の需要地までのサプライチェーンを構築し、・・・</u>」と修正をお願いします。</p>	<p>【パブコメ No. 8】 拝承しました。追記いたします。</p>

<p>【パブコメ No. 7】</p> <p>水素、アンモニアなどへの燃料転換において、水素社会推進法における1次支援策は全く不十分。価格差支援の範囲や拠点整備支援が1/3にとどまっている状況では需要家のコスト負担が著しく上昇し、導入を躊躇する状況となっていて、早期の効果創出ができない状態です。2次支援策において1次支援策同等以上の支援を講じ、効果創出を促進してほしいと思います。</p>	<p>【パブコメ No. 8】</p> <p>まずはファーストムーバーへの支援が重要であると理解いたしました。したがいまして、セカンドムーバーの記載を抹消し、ファーストムーバーへの支援を強調するよう記載を見直します。</p>
<p>【パブコメ No. -】（新規）LNG 安定調達の度合いを測定・評価する指標の具体化</p> <p>民間によるLNGの長期・安定調達を促すため、国が想定する上記指標について早急に具体化・明確化されることを期待したい。また、どのような政策支援につながるかについても、その概要やイメージを広く共有を頂きたい。</p>	<p>【パブコメ No. 9】</p> <p>拝承しました。新たに追加いたします。なお、概要やイメージを広く共有する記載につきましては具体的な提案に結びつけることが困難であったため、記載を見送らせていただきます。</p>
<p>【パブコメ No. 9】</p> <p>以下の修正を提案したい。</p> <p>&lt;修正前&gt;</p> <p>供給力確保については、供給力確保を促すことができる実需同時同量制に移行することにより、小売事業者が、インバランスを抑え、安定供給の確度を高める仕組みとすべき。これらにより、短期のみならず中長期の計画断面での供給力の確実な確保や、実需給断面での最適な需給運用が可能となる実効性のある市場への変容が可能である</p> <p>&lt;修正案&gt;</p> <p>供給力確保については、小売電気事業者による中長期的な供給力確保とインバランス抑制を促すことができるインセンティブ設計により、安定供給の確度を高める仕組みとすべき。現在国の審議会で議論されている「同時市場」については、引き続き競争環境を維持するため、新規参入者に過度な負担を強いることのないような検討をお願いしたい。また、将来必要となる脱炭素電源や系統設備への投資は、長期かつ大規模な投資が継続することとなるため、発電・送配電事業者金融機関への資金面での支援を検討すべき。</p>	<p>【パブコメ No. -】（記載抹消）</p> <p>インバランス調整等、電力システムに係るご意見は業界によってさまざまな見解があることから、今回はパブコメ No. 9 自体を抹消し、パブコメ No. 11 に、これまでの下向き需要が上向く転換期の観点で、投資環境の整備について意見出しさせていただきます。また修正案のうち、「新規参入者に過度な負担を強いることのないように」は「特定の事業者に負担が偏ることのないように」という記載で反映いたしました。</p>

<p>【パブコメ No. 15】</p> <p>樹脂、木材、ガラス、コンクリートなどの再生材を念頭においた一般的なコメントと思われるが誤解を招く恐れがあり、中経連意見における表現に配慮をお願いしたい。  (たとえば、鉄鋼製品はほぼ全量が循環再生されるが、鉄鋼製品の JIS においては、品質的に再生材を区別する必要がない)</p> <p>「品質低下の懸念がある場合には、品質基準を設ける」などの表現を用いる。</p> <p>あるいは、[概要]を「再生材の標準化推進」として、「再生技術、再生材の標準化により安心・安全を確保して市場への流通、普及を推進・支援するとともに海外展開への足掛かりとすべき」などの意見内容にする。</p>	<p>【パブコメ No. 15】</p> <p>拝承しました。なお、鉄鋼製品を始め、各業界の再生材について考え方や標準化の進捗状況について把握・調査できていないことから、本記事を抹消し、静脈産業への支援の記載に留めさせていただきます。</p>
<p>【パブコメ No. 16】</p> <p>物流インフラ関連に関しまして、GHG 排出量を削減しながら輸送キャパシティを維持していく事はエネルギー政策上も非常に重要な課題かと存じますので、ぜひ今後も注力頂きたいと思えます。</p>	<p>【パブコメ No. 16】</p> <p>ご意見ありがとうございます。中経連としましても物流委員会を始めとして各委員会とも連携しながら、カーボンニュートラルの実現に向けて取り組んで参ります。引き続き、中経連活動にご理解・ご協力をよろしく申し上げます。</p>
<p>【パブコメ No. 18】</p> <p>概要の「新しい価値」の前に以下の文を追加してはいかがでしょうか。  「わが国エネルギー事情の実態を確り説明するとともに、」</p>	<p>【パブコメ No. 18】</p> <p>拝承しました。追記いたします。</p>
<p>【パブコメ No. 18】</p> <p>意見の「GXとDXを同時進行させる」の前に追加してはいかがでしょうか。  「わが国エネルギー事情の実態を確り説明するとともに、」</p>	<p>【パブコメ No. 18】</p> <p>拝承しました。追記いたします。</p>
<p>【パブコメ No. 18】</p> <p>コストに対する言及はそこかしこにあるものの、コスト低減のための支援策があるうとエネルギーコストは大きく上昇するものと思われまます。「理解を得る」などの言及だけでなくコスト負担をどのようにしていくのか（エネルギーコストのみならず、それを用いて製造された製品やサービスも）議論を深めることを明言してほしいです。</p>	<p>【パブコメ No. 18】</p> <p>ご意見ありがとうございます。コスト負担のあり方については、今後、各政策において具体化されていくものと思われまますので、中経連として内容を精査した上で、必要に応じて政府に要望をしていきます。</p>